

富山県高P連会報

第 121 号
2019.9

編集発行

富山県高等学校PTA連合会
発行人 会長 深松 茂
富山市千歳町1-5-1
富山県教育記念館41号
TEL 076(432)2810
FAX 076(432)1501



ご挨拶

富山県高等学校PTA連合会
会長 深松 茂

この度、令和元年度総会において、富山県高等学校PTA連合会会長に就任いたしました富山高等学校むつみ会会長の深松茂でございます。副会長を始めとする役員の皆様、県校長協会の校長先生の皆様、事務局の皆様、各単位PTAの皆様と共に子供たちのさらなる成長と教育環境の向上、先生方の働く環境の向上を目指して活動していきたいと考えておりますので、本連合会の運営が円滑に図られますよう皆様の引き続きのご支援とご指導をお願い申し上げます。

全国高等学校PTA連合会の総会にて、富山県高等学校PTA連合会顧問の牧田和樹様が会長に就任され3年目がスタートしました。牧田会長は2年間にわたり取り組まれたアンケートシステムの稼働や全国大会の改革、全高P連の改革、保護者向けの薬物乱用防止パンフレット等を作成されるなどのご活躍されており、県高P連としても全力で協力して参りますので会員の皆様のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。私は全高P連では調査広報委員会に所属しており、アンケートシステムを活用して

の全国調査や紙媒体での広報を今年度よりホームページ上での公開に変更する等の企画立案する事に携わっています。ここで全高P連、地区連合会、都道府県市連合会、加盟校PTAの役割について説明します。全高P連は正会員である都道府県市連合会の活動を全国的な視野で支援する連絡調整組織であります。北信越地区連合会は全高P連の内部組織であり北信越地区大会開催をメインに担当します。県高P連は各単位PTAの皆様のご活動を果敢とした視野で支援する連絡調整組織であります。各単位PTAは保護者の皆様と先生方が協力して子供たちの教育効果の向上を図る実施組織であります。次に県関連では県高P連より要望をしていた、普通教室への公費でのエアコンの設置が今年度と来年度で行われ、PTA設置のエアコンは公費での買取りなどにより公平性の確保に努めていただき、また今年度より運用費を公費で負担いただき、県、県議会、県教育委員会等の皆様に衷心より感謝申し上げます。またスクールカウンセラー設置拡充とスクールソーシャルワーカーの派遣拡充やSNS

を活用した相談モデル事業の継続など生徒指導・支援体制の更なる充実を図っていただきました。新規の社会へ羽ばたく「17歳の挑戦」事業ではアカデミック・インターシッピングや富山の企業魅力体験バスツアーの企画にあたり、生徒や先生方に負担のかからないように配慮いただきましたように、お願い申し上げます。

県高P連には教育向上委員会と企画委員会の2つの委員会があります。教育向上委員会では平成26年度より「イレブン・セブン運動」と銘打ちスマートフォンへの依存、日常生活や学習環境の乱れ等、子供たちへの悪影響が日常的に及んでいる状況では、保護者の責任を明確にして、保護者の責任において解決するという議論をしております。また教育長要望や知事要望についても議論をしております。企画委員会では教師の働き方改革、若い世代の人が「教育者」を志さしてもらうには保護者に何ができるのかについて議論をしております。他には大学入試英語外部検定や教育長要望や知事要望についての議論や理事会での議題について議論しております。

令和元年10月29日に県高P連70周年記念式典、県高P大会・指導者研修会を開催します。令和3年7月には北信越地区高等学校PTA連合会研究大会富山大会の開催が予定されております。皆様には、様々なご協力をお願いすると思っておりますが、大会の成功に向けご理解とご協力をお願い申し上げます。会長として、まだまだ微力ではありますが皆様と共に、子供たちの健全で健やかな成長を願って今年度1年間よろしくお願ひ申し上げます。

令和元年度定期総会開催

6月4日富山電気ビルにおいて、令和元年度県高P連定期総会が約220名の参加を得て開催され、新役員が次のとおり選出されました。

顧問

牧田和樹 山崎 均

会長

深松 茂 (富山)

副会長

小峰正文 (魚津) 榎田隆二郎 (富中)
才高人思 (高岡) 上椋慎也 (砺波)
荒木義雄 (高岡)

会計監査

青木 仁 (富商) 奥野康宏 (砺工)

P側理事

田中正博 (入善) 籠浦 力 (桜井)
高木久斗 (滑川) 久保田裕美 (富工)
稲田礼司 (富東) 西尾 哲 (小杉)
荻澤裕美 (高工) 柴田昌尚 (高商)
井上 武 (福野) 沼田秀和 (石動)

T側理事

小泉量裕 (魚津) 柳原英志 (滑川)
高松敬郎 (富山) 福島英晴 (富中)
仲井 章 (富商) 佐野友昭 (小杉)
六家敬吉 (高工) 宮岸 毅 (高商)
林 誠一 (砺波) 今堀俊彦 (福野)
上田晃嗣 (雄峰)

幹事

湯口 淳 (桜井) 中崎圭子 (雄山)
村上竜哉 (富西) 盛本 茂 (富中)
横川元俊 (呉羽) 出口信夫 (新湊)
澤村 修 (高西) 岡田知己 (福岡)
石黒光弘 (砺平) 嶋谷克司 (雄峰)
松井恵里 (とみなみ総合支援)
神田 聡・岩河隆一 (事務局)

共学共育

入善高校PTA

「すべては子供たちの輝く未来のために」

本校のPTAは、会長、副会長、会計監査、各委員、また、教養、広報、生活指導の3つの委員会から構成されています。

教養委員会は主に生徒の進路について研修をします。主な活動は6月に保護者のための進路講演会を企画・運営しています。以前は土曜日の午後に行っていたものを昨年より金曜日の夜7時に、会場も公共施設から、本校に変更したところ、参加者が増加し、今年は92名参加でした。教養委員会のもう一つの活動は、7月に行う大学見学会です。従来、県内の大学と近隣の大学に交互に行っていました。今年富山県立大学に看護学部が新設されたこともあり、2年連続で県内の大学を見学しました。40名以上の参加があり、保護者の多くは、普段知ることのできない大学教育の実際を目にし、本校卒業生から学生生活の生の話を聞くことができ大変好評でした。参加された保護者は高校生と大学生のあまりの違いに驚き、大学教育の意義を再確認されたようでした。広報委員会は「PTA便り」を9月と3月の年2回発行しています。そのため年6回、夜7時から集まります。

「PTA便り」は毎回、特別企画をもうけています。特別企画ページをどうするかで一回の会議をまるごと使い案を出し合います。これまで「お小遣い」についてや、「SNS」についての企画をしてきましたが、今回は「親と子のかかわりかた」についての特集を組みます。

生活指導委員会は春と秋の「高校生さわやか運動」への協力、6月から8月にかけて行われる各地の祭礼での巡視が主な活動になります。第一回の役員会でどの運動・巡視のどの日・時間に参加できるか話し合いをし、委員の皆さんに協力していただけるようにしています。最後に、今年は3年に一度の学園祭「入高祭」の年です。3年前はPTAでカレーを提供し大好評でした。今年も来校される方によりいっそう喜んでいただけるよう取り組んでいます。



PTAによるカレー作り

「子供は家庭で育て、学校で鍛え、地域で磨く」をモットーに、そして全ては子供たちの輝く未来のために役員一同精一杯活動していきたいと思っております。

入善高校PTA会長

田中 正博

高岡高校PTA

「PTAとして進路に関わる」

本校のPTAは、会長1名、各学年で副会長3〜4名・監査委員1名の計16名の役員と各クラス2名の計42名のクラス委員が全体委員会に属しています。このメンバーが、広報委員会、保健委員会、生徒生活指導委員会の3つの専門委員会および学年委員会のいずれかに所属します。全体委員会は年3回実施し、7月の第2回全体委員会では、生徒指導部・保健厚生部の説明の後、大手予備校の講師を招聘し、全体委員を対象とした「進路講話」を行っています。これは県高P連の「特色あるPTA活動支援事業補助金」を受けて実施しています。受験生を抱える3年生の保護者だけでなく、1、2年の保護者にとっても示唆に富む講話を聞くことができます。それに続いて3学年の役員クラス委員が出席して、講師を交えた懇談会も行い、忌憚のない質疑応答、意見交換ができるようになっていきます。



全体委員会「進路講話」

広報委員会では、年2回「PTAだより」を7月・12月に発行しています。

高P連や学校行事に参加しての感想を含めて記事を書いて紹介しています。

保健委員会では、7月と2月の年2回、全体委員会に先立ち、学校保健委員会を開催しています。保健厚生部からの生徒の現状報告に加え「ストレスに関する取り組み」、「食生活に関する取り組み」等のテーマで、校医、学校薬剤師の先生方を招いて研修を行っています。

生徒生活指導委員会では、さわやか運動へ参加しています。7時40分〜8時20分まで、校門前・中川交差点・越中中川駅の三ヶ所で、生徒・教職員・保護者が、4日間で延べ約200人が参加しています。また、高岡駅氷見線ホームでの乗車指導も行っています。

学年委員会では、各学年でのPTA研修会を企画運営しています。10月の1、2学年のPTA研修会では教育相談講演会を併せて実施しています。これは1学年のPTAが主催しており、進行等もPTAが行っています。PTA研修会はどうしても入試に向けた情報が中心になりますが、同日に教育相談に関する講演を聞くことができ、保護者として子どもとの関わり方に多面からの情報を得ることができるようになっています。

各委員会での取り組みを継続することで、保護者と学校が協力し、生徒にとってよりよい教育環境づくりに取り組みんでいきたいと思えます。

高岡高校PTA会長

才高 人思

＊ふるさと支援学校PTA＊

「PTA活動をとおして」

本校は、昭和四十九年四月に開校し、本年で創立四十五年となる病弱の児童生徒を対象とする特別支援学校です。

富山市の南西部の丘陵地にあり、里山の自然豊かな地域です。時にはカモシカやホクリクサンショウウオなどの野生の生き物の姿も見られます。

本校には、小学部、中学部、高等部が設置されており、それぞれに訪問教育があります。慢性疾患や適応障害など様々な児童生徒と、訪問教育対象の重度・重複障害のある児童生徒が在籍しています。

また、児童生徒は全員、隣接する独立行政法人国立病院機構富山病院に入院し、治療を受けながら学習を行っています。

本校のPTA役員は、会長と四名の副会長で構成され、年間のPTA活動全般の企画運営を行っています。ここでは、PTA研修会について紹介します。

昨年度の第一回PTA研修会では、学校保健委員会と兼ねて、講師を招き「ストレスのメカニズムと対処法」という演題で精神保健福祉士の福井淳夫先生にお話をさせていただきました。保護者と児童生徒が共に講話を聞くことにより、身体と心の健康に関する理解を深め、生活習慣を振り返る機会としました。

第二回のPTA研修会では、本校を会場とし、県民ふれあい公演を開催しました。本県で活動する芸術家

の公演鑑賞を通し、身近で優れた文化に保護者と児童生徒が一緒に触れる機会となりました。

第三回のPTA研修会では、施設見学を行い、就労継続支援事業所等を見学しました。年度によって、特例子会社、専門学校等を見学し、子供の進路を考えたり、見聞を広げたり、会員の親睦を図ったりする機会にしています。

本校の在籍児童生徒数は三十六名と少なく、小・中・高等部に在籍する児童生徒は年度途中の転出入が多く、在籍期間が短い傾向が見られます。

また、居住地は県内全域に渡ります。そのため、なるべく学校行事に合わせてPTA役員会や研修会、ボランティア活動等を行い、保護者が参加しやすいように計画しています。

今後私たち保護者の負担にならず、「参加してよかった」「参加して元気をもらった」と思えるPTA活動を協力し合って進めていきたいと思えます。

ふるさと支援学校PTA会長

大橋 真理子



施設見学

地区指導者研修会報告

新川地区指導者研修会

日時 6月11日(火)

会場 魚津高校

分科会と発表校

第2分科会 進路指導とPTA

泊高校 石原孝之副会長

第3分科会 生徒指導とPTA

滑川高校 高木久斗会長

第4分科会 家庭教育とPTA

新川みどり野高校 長勢英二会長

講演

「まだ間に合う、心と身体のため」

成長のための睡眠習慣の改善

富山大学

顧問 神川 康子 氏

高岡地区指導者研修会

日時 6月12日(水)

会場 ウイング・ウイング高岡

分科会と発表校

第2分科会 進路指導とPTA

高岡高校 才高人思会長

第3分科会 生徒指導とPTA

高岡工芸高校 荻澤裕美会長

第4分科会 家庭教育とPTA

新湊高校 楨 一恵会長

講演

「のび太という生き方」

富山大学

名誉教授 横山 泰行 氏

富山地区指導者研修会

日時 6月27日(木)

会場 富山工業高校

分科会と発表校

第1分科会 高校教育とPTA

富山南高校 早勢桂太郎会長

第2分科会 進路指導とPTA

水橋高校 若島将洋会長

第3分科会 生徒指導とPTA

富山北部高校 山田博喜会長

第4分科会 家庭教育とPTA

八尾高校 谷口あゆみ会長

講演

「大学入試の最新状況と教育経済学の観点での大学選び」

富山大学アドミッションセンター

教授 船橋 伸一 氏

砺波地区指導者研修会

日時 6月18日(火)

会場 クロスランド小矢部

分科会と発表校

第1分科会 高校教育とPTA

小矢部園芸高校 砂田憲一副会長

第3分科会 生徒指導とPTA

南砺福野高校 井上 武会長

講演

「高校生の食事と栄養ー食の自立にむけてー」

公認スポーツ栄養士

館川美貴子 氏

北信越地区高P連 研究大会長野大会

令和元年度北信越地区高P連研究大会が、7月4日、5日に長野市ホクト文化ホールで開催され、北信越5県から1163名、本県からは146名が参加しました。

初日は、開会式に続いて飯田O I D E長姫高校の高校戦隊テックレンジャーによる歓迎アトラクションがあり、ステージから時には観客席まで広がるショーは、参加者を実に楽しい気分させてくれました。引き続き分科会が4会場に分かれて実施され、熱心な討議が行われました。夜には、教育委懇談会が催され、富山県参加者は福井県・長野県参加者と交流を深めました。



結城先生講演

二日目は「金メダリスト小平奈緒の成長を支えて」～選手の力を最大限に引き出すコーチング～と題して、信州大学教育学部の結城匡啓教授が講演されました。科学的なトレーニング方法、小平選手の成長過程、家族の愛情、さらに韓国の李相花選手との友情にいたるまで、心に響く話で、あつという間の時間でした。また、会場からの質問に真摯に答える結城先生の姿に、小平選手が先生を信頼し、そして金メダルを取ることができた秘密を感じることができました。令和2年度は、7月10日、11日の両日福井市の福井フェニックスプラザをメイン会場に開催される予定です。

分科会発表概要

第1分科会（高校教育とPTA）

「農業を絆にした学校行事と連携するPTA活動」

小矢部園芸高校PTA会長
澤田 秀紀



本校のPTA活動は3年間に全員が役員となることを基本として「農産物を絆にする」「学校行事に参加する」「学校での子どもを見る」「子どもを見守り伝える」という4つの活動方針と「自己理解を深めるための支援」「人間関係づくりへの支援」「可能性を広げるための支援」という3つの観点を設けている。その方針のもと、全ての保護者が学校行事に参加することで学校の教育活動に関心を持ち、家庭でのコミュニケーションが、より深まるような活動ができるよう努めている。農業を絆にした、学校行事と連携するPTA活動には以下のようなものがある。①春の野菜苗・花壇苗販売、秋の農産物即売会は盛況を呈している。生徒自慢の米や野菜・花鉢・庭木・アロマ石鹸など人気で、野菜の育て方は家での話題の中心になっている。②学園祭や農産物即売会にあわせ

「収穫を共に祝おう」と生徒が育てた米と野菜で、生徒と保護者が一緒にケーキを作り、生徒・保護者・職員全員に提供する。また、専攻科生徒が作る豚汁もある。③学園祭や農産物即売会では遊休品バザーなどを行っている。生徒数が少なく生徒の協力が係仕事にあたるため、保護者の協力が必要となる。④毎年授業を利用して、和菓子職人を招いて紅白饅頭作りを行い、作った饅頭に「祝」の焼き印をして、のし紙をかけた箱に詰め、卒業生をはじめ生徒・職員全員に贈っている。保護者も参加し、材料費を負担している。

PTA活動の活性化を図るため、以下のような活動を行っている。①生徒と保護者が互いに理解を深め、コミュニケーション能力の育成を図るために「PTA活性化プロジェクト」を実施している。②全国大会につながる農業クラブの活動の「校内意見発表会」は、審査にPTA役員も加わり、PTA特別賞を設けて賞状と副賞を授与する。③生徒と親、教師との連帯感を深め生徒の健全育成を図る目的で、講師を招き、保護者と教師が共に学ぶ研修会を行っている。④生徒を見守る活動として、生徒とともに学校近くで挨拶運動をする。⑤教員による生徒全員の個人面談の他、社会経験が豊富で企業等の採用を担当した専攻科の生徒による進路講話や模擬面談指導が行なわれる。⑥PTA通信に卒業生の保護者全員からのメッセージを掲載する。今後、小規模校の利点を生かして「農業」を軸にした多彩なPTA活動を実践していきたい。

第2分科会（進路指導とPTA）

「誇りを持てる人生を送る諸君へ」

水橋高校PTA会長
若島 将洋



本校は、置県百年にあたる昭和五八年四月に県内で唯一の体育コースを有する普通科単独校として開校した。この特色あるコースの設置については、音楽コースの呉羽高校、英語コースの福岡高校があり、開校当時より話題性に富み、実績を積み上げ今年創立三十七年を迎えたが、県立高校再編の実施計画に基づき本校が再編対象校となり、今年度が三学年初最後の年となる。PTA全体研修会は通年外部講師を招いて講話を聴いていたが、昨年度はPTA全体研修会の内容を決めるPTA常任委員会で、保護者が子供たちの進路について支援してあげることができないかと協議したところ、現役大学生の高校時代の生活状況や大学時代の生活、四年生であれば就職に至る経緯を聞きたいという意見が多く出たので、それをテーマとして本校出身の現役大学生を迎え、保護者と意見交換を行った。どの保護者も我が子の将来を非常に気にしており、学生の現実味のある話を真剣に聞いていた。研修会後のアン

ケートでは「大変参考になった」「我が子を信じて見守り、やりたいことに協力してあげたい」、「子供たちに聞かせてあげたい」など、大変多くの感想を頂いた。

本校は、令和四年三月をもって閉校する。したがってこの最後の三年間、子供たちのために何をすべきなのか、しっかりと考えていかなければならないと思い、「水橋プロジェクト」を立ち上げた。その趣旨は、子供たちの教育活動について、先生方だけでなく、保護者、地域の人々、学校関係者、そして生徒たちみんなで考えて取り組んでいこうというものである。今年度入学した最後の生徒が卒業するまで、全生徒が「この水橋高校で学んで良かった」、「この卒業生であることに誇りを持つて」と思えるように支援していくことがPTAとして一番大切なことではないかと思ひ、「PTAができることは何なのか」を考え、子供たちに目先の大学進学のことだけでなく、社会の変化に対応できる人、自分の未来を切り開いて生きていく人、色々な知識や体験に興味を持って人すなわち「生きる力」を身につけてもらいたいと思っている。残り少ない本校であるが、今後も前例にとらわれない自由な発想で、将来に生かせるキャリア支援など、学校教育に対する支援を行っていきたくと考えている。



第3分科会（生徒指導とPTA）

「家庭や地域と共に育てる

教育環境の充実を目指して」

水見高校PTA会長

正保 哲也

本校は平成22年に有磯高校と水見高校が統合し、新水見高校としてスタート、今年度創立10周年を迎える。普通科、農業科、海洋科学科、ビジネス科、生活福祉科の5学科、19クラスの大規模校である。市内唯一の高校として地域との結びつきが強く、PTA、関係機関が協力して駅頭や交差点で挨拶運動を行っている。また、富山県高P連が展開する「イレブン・セブン運動」の一環として、スマートフォン使用のルール作りを推進している。



生徒会、校風委員会では全校生徒対象のアンケート結果をもとに、安全なネット利用のための「スマホに関するルール3箇条」を作成し、ポスター掲示を行っている。

- ・PM11:00～AM7:00まではスマホを使用しない。
- ・スマホの使用時間は学習時間より短く。
- ・ネット上に他人の個人情報掲載せない。

第4分科会「家庭教育とPTA」

「これからの社会を生きる生徒に

どのような力を身に付けさせたいか」

～家庭と学校の連携から～

新川みどり野高校PTA会長

長勢 英二

本校は、平成13年に県東部の定時制教育の拠点として、昼間I部・II部、夜間の3部からなる定時制単位制高校として設立され、現在、全校生徒は117名です。また、富山県生涯学習カレッジ新川地区センターが併設され、社会人が学ぶ「生涯学習校」として役割を担っています。



本校のPTA活動には、PTA総会、さわやか運動等があげられます。特に特色ある活動として「新川キャンパスフェスティバル新川みどり野屋台村」を毎年秋に実施しています。PTAと生徒が一緒に協力して販売活動を行っています。

本校では、特別な支援を要する生徒及びその可能性のある生徒が、在籍生徒の20%を超えています。また、小中学校での不登校経験者も50%に達しており、基礎学力の未定着、コミュニケーション能力不足の生徒が多い現状です。PTAは、これからの社会を生きる生徒にどのような力を身に付けさせたいかを考えていく必要があります。そのために、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー

ルワーカー等を交えての研修会や意見交換の場を設け、保護者が広く情報を得られるようにしています。

学校と家庭との連携について、二人の生徒の実践事例を紹介し、まず一人目は、3年次生の就職希望の生徒です。2年次に実施した就業体験学習の課題から、今年度の保護者懇談会では、保護者・教師にカウンセラーが参加し、それぞれの思いを話し合い、それを基に常に働く意識をもたせ、体力や持続力を付ける取り組みを行っています。二人目は、4年次生の就職希望の生徒です。2年次に実施した就業体験学習の課題から、3年次では挨拶や身だしなみなど社会的マナーを身に付けること、また、4年次では卒業後の生活力を身に付けさせるために大人数の生徒の中で授業を受けることや、自分でできることを増やす取り組みを行っています。

今後は、保護者の来校機会を増やすという目標を掲げ、PTA総会を土曜日の開催に、また、学校行事や講演会等の参加の呼びかけ等に取り組んでいきます。さらに、学校行事や講演会等については、学校ホームページや学校教育安全メールで全保護者に連絡をし、学校の情報を保護者と共有していきます。

一人一人の生徒をサポートするには、まず教職員と保護者が話し合う場を設定し、互いの信頼関係を築いていくことが大切です。そして、学校と家庭が情報を共有し、地域の協力も得ながら、社会に出るために必要な力の育成に取り組んでいきたいと考えています。

第69回全国高P連大会 京都大会

「Kyôから！未来を拓く」

受け継ぎ、創る新たなストーリー」
第69回全国高P連大会京都大会が、8月22日、23日に京都市の「勸業館みやこめッセ」及び「ロームシアター京都」を会場に開催されました。全国から1万人以上、富山県からは126名が参加しました。

22日の午前中は、「京の大学訪問コース」、「京の企業訪問コース」、「京の文化財訪問コース」などの見学が準備され、午後からは、アトラクションとして京都府立工業高等学校吹奏楽部のすばらしい演奏ののち、開会式が行われました。この京都大会から、今まで行われていた各代表単Pの発表がなくなり、代わって6つの分科会が開催されました。参加者が加わつてのグループディスカッションをメインとする分科会や3月に卒業した生徒の声を聞く分科会、スマホを使ったワークショップなど今までにない企画は新鮮で、参加者から好評でした。二日目は、京都市立搭南高校吹奏楽部マーチングバンドのダイナミックな演奏、また京都府立鳥羽高等学校校披講研究部による披露された京文化・日本文化を感じることができました。全体講演は、日本電産株式会社代表取締役会長の永守重信氏による「学校教育・家庭教育に思うこと」と題して行われ、座右の銘である「情熱」「熱意」「執念」を感じ力強い圧倒される講演でした。来年度は、8月20日、21日に島根県松江市をメイン会場に開催されます。

参加者の声

大会初日、私たちは、同志社大学を訪問させていただきました。分科会では、講演とパネルディスカッション、グループでの意見交換会、ワークショップなど様々な形式で互いに学び合い交流することができました。二日目の講演では、永守会長自身が一代で日本電産を巨大企業に成長させたエピソードや会社を経営する中で蓄積された人材の採用、教育、育成、活性化について、ユーモアを交えながら、それを生かした大学教育・家庭教育について講演いただき、参考になる点が多く、子どもの進路についても考えさせられました。
(魚津高校PTA会長 小峰正文)

第69回全国高等学校PTA連合会大会「京都大会」へ参加させていただきました。
前日からの京都入りで大会一日目の午前には京の企業訪問として株式会社島津製作所へ訪問させていただきました。富山県所縁のノーベル化学賞者、田中耕一氏が勤められていることもあって、とても興味をもって修学旅行のように楽しむことができました。

午後からは開会式、第一分科会と参加させていただき、夜には牧田連合会会長を迎え、教育懇談会が開催されました。県内各地より参加された皆様と意見交換を持ち、今後の活動へ向けて有意義な時間となりました。
(砺波高校PTA会長 上桢慎也)



令和元年度表彰

本年度の全国高P連大会、北信越高P連研究大会で、次の皆さまが表彰されました。

▼優良PTA文部科学大臣表彰
団体 上市高校PTA

▼全国高P連大会会長表彰
団体 南砺福光高校PTA
入善高校PTA

役員 山崎 均(前高P連会長)
個人 岩田秀昭(前高P連副会長)

▼北信越地区高P連表彰

- 山崎 均(前高P連会長)
- 瀬島史郎(前高P連副会長)
- 山本英介(前高P連副会長)
- 御園伸太郎(前高P連会計監査)
- 海老忠大(前高P連会計監査)
- 広井 睦(前高P連事務局長)

編集後記

会報第121号を皆様にお届けする運びとなりました。寄稿していただきました多くの皆さまに、厚く御礼を申し上げます。さて、5月から令和元年を迎えました。令和には「春の訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花のように一人ひとりが明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる、そつした日本でありたい」との願いが込められているということです。高P連も子どもたちそれぞれが、明るい希望をもって健やかに成長することを願って活動しています。今年も、高P連創立70周年の節目の年でもあります。様々な活動につきましても、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。
(事務局長 神田)